

ICT活用事例 AI（教師による教材の提示） CI（発表や話し合い）

## 小学校5年・特別活動「高学年として臨む運動会に向けて」

学級活動（3） 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

使用したソフトや機能：ホワイトボードソフト カメラ機能

### 〈ICT活用のポイント〉

- ① ホワイトボードソフト上で思考ツールと付箋を使うことで、意見を共有しやすくすることができる。
- ② カメラ機能を利用し、上級生のインタビュー動画を撮影することで、授業の適切な場面で動画を活用することができる。

#### 1 題材について

##### （1）児童の実態

年度当初に話し合っただけ決めた学級目標は、「みんなに優しく、お手本になれるクラス」である。登校班長や委員会活動などで自主的に行動できる児童が増えてきた。

##### （2）題材設定について

本学級の児童は、行事に対して関心が高く、運動会についての事前アンケートでは、運動会へのやる気度の学級平均は88%であった。また、「高学年とは？」の問いには、「低学年のお手本になる」、「低学年に優しく、お手本になれる人」などの回答が多く、高学年はお手本を見せる学年であると認識している児童が多いことが分かった。さらに、「高学年として学校生活で心がけていることはありますか？」の問いには、26人中17人が「Yes」を選択し、自覚を持っている児童が多い。しかし、実際には、進んで行動に移すことができていない児童も少なくない。

本題材を通して、目指す姿を明確にした自分の目標を立てて取り組み、6年生の姿を意識して運動会に臨み、自己の成長につなげられるようにしたい。

#### 2 学級活動（3）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
希望や目標をもつこと、働くことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分にあった解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かしたり、改善を図ったりしながら、他者と協働し、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

### 3 本時までの活動の流れ

#### (1) 事前の指導と児童の活動

活動の場面	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
8月27日 学級活動	運動会の係活動を決定する。	・自分のやりたい係、なり たい自分について考え、 決定することができる ようにする。	◎自己のよさを生かした り、よさを伸ばしたりす ることを目指しながら、 決定したり、アンケート に答えることができる。 【主体的に学習に取り 組む態度】（アンケート、 観察）
9月3日 朝の会	題材の確認とアンケート の回答。	・今までの運動会を振り 返ったり、今年の運動会 についての考え・気持ち を明確にしたりするこ とができるようにする。	

#### (2) 本時の指導と児童の活動

	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
つ か む  5 分	1 大型モニターで提示したアン ケート結果で題材を把握し、問題 意識を高める。  2 本時の目標を提示する。  高学年として臨む運動会での目標や取組を決めよう。	・アンケート結果をスライ ドにまとめておく。 ・みんなで考えるべき共通 の課題があることに気 付かせる。	
探 る  15 分	3 運動会を通して成長したいこ とや、なりたい自分について考え る。  →Yチャート（シンキングツール） を使って、全体でまとめる。  →その後、ダイヤモンドランキン グを使って自分の言われた言葉 について考えを再構築させる。	・イメージしにくい児童に は、運動会後になんと声 をかけてほしいかとい うことについて問いか ける。 →Yチャートを使って、運 動会後にかけられたい 言葉について「家族」「友 だち」「先生」について 全体で分類する。（クラ ス） →ダイヤモンドランキン グで自分の考えを整理 させる。（個人）	◎なりたい自分・成長させ たいところ・希望や目標 を明確にし、自分の考え を表現することができる。【思・判・表】（発 言、シンキングツール）

見 付 け る 18 分	4 どんなことを頑張りたいか考 える。  5 6年生のインタビュー動画を見 る。	・個人で考えた後に、班で 交流・話し合いをする。 ・一つに絞るのではなく、 意見の交流を行い、自分 の選択肢を増やせるよ うにする。 ・6年生の思いを感じ取れ るようにする。	
決 め る 7 分	6 目標・取組を決定する。	・なりたい自分や理由を明 確にして、目標と取組を 決定させる。	◎解決方法や取組につい て話し合い、自分にあった 目標・取組を意思決定す ることができる。【思・ 判・表】（ワークシート）

(3) 事後の指導と生徒の活動

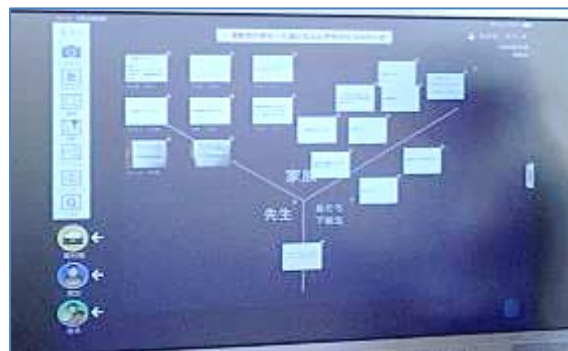
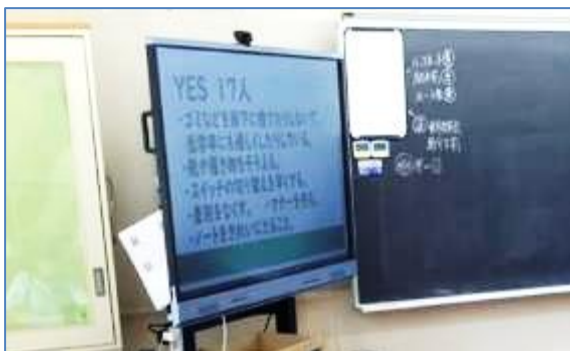
活動の場面	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
運動会練習 期間中 9月13日 ～ 9月24日	日々の振り返りや取組の チェックを行う。	・自分自身で振り返るとと もに、友だちの頑張りを 認めたり、自分の頑張り につなげたりできるよ うにさせる。	◎自己のよさを生かしな がら将来への見通しを もち、自己実現を図るた めに必要な知識や行動 の仕方を身に付けるこ とができる。【知識・技 能】（ワークシート・観 察）
運動会 終了後 (宿題)	運動会を終えての感想や 自分の成長したところ について考え、まとめる。	・運動会当日の感想や成長 を振り返りまとめ、保護 者からコメントを記入 してもらう。	◎今回の取組や行動を振 り返りながら、今後も自 己のよさを生かしたり、 改善を図ったりしなが ら、他者と協働して、自 己実現に向けて自主的 に行動しようとしてい る。【主体的態度】
9月29日 学級活動	運動会の取組を振り返り ながら、キャリア・パスポ ートにまとめる。	・運動会練習も含めた全体 を振り返り、次の成長へ とつなげられるように させる。	【主体的態度】 (ワークシート・発言)

#### 4 ICTの効果的な活用について

本授業は、「運動会」という学校行事に関連した「学級活動（3）ーア」の実践である。高学年としての自覚を高めるとともに、来年度、最上級生として、どのような姿を目指すのか具体像を持って目標を決定するために、友達と意見を共有したり、6年生のインタビュー動画を活用したりした。

##### A 1（教材の提示）

- ・大型モニターでアンケート結果を提示する。
- ・Yチャート（シンキングツール）を使って、全体でまとめる。
- ・6年生のインタビュー動画を見る。



大型モニターを活用した教材の提示により、児童にわかりやすく情報を伝えることができる。また、児童の意見をすぐに反映させたり、確認しながら移動させたりすることができる。

##### C 1（発表や話し合い）

- ・ダイヤモンドランキングを使って考えを再構築する。



ホワイトボードソフトの背景にシンキングツールを配置し、その上でカード（付箋）を操作することで、思考し直したり、考えをまとめたりしやすくなる。

また、作成したデータをフリップのように用いて話し合うことで、自分の意見をわかりやすく伝えたり、友達の考え方を共有しやすくなりやすかった。

#### 5 学級活動（3）について

学級活動（2）や（3）では、題材に対して、児童一人一人が課題意識を持ち、話し合いを通して、その原因や解決方法を探り、自分に合った目標や具体的な方法を意思決定する（つかむ→探る→見付ける→決める）という学習過程が、学習指導要領で例示されている。また、決めたことを実践し、振り返ることで、実践の継続や新たな課題の発見につなげることが大切である。

この実践では、話し合い活動で積極的にICTを活用した。取組全体では、紙のワークシートを活用し、最後にキャリア・パスポートにまとめ直す活動を取り入れた。

取組を通したワークシートでは、意思決定の過程や取組状況、振り返りを1枚にまとめ、児童間でコメントを記入したり、教師や保護者のコメントを入れたりして、自分の考えや行動について他者から共感・承認される場面を設定した。

